

制作概要

『竹取物語』のストーリーからその印象を5曲の小品で構成した組曲。西洋の木管楽器フルートと和楽器の篠笛の音色のちがいをすることによって時空の広がりをもっと感じられるように表現した。

第1曲目の表題は『むかしむかし』。今現在を生きる私たちが、悠久の「むかしむかし」の世界にタイムスリップ。現実から離れた世界に身をおく。

第2曲目は竹取物語の主人公『かぐや姫』が表題。緑の山々、おだやかな空、美しい自然の中の竹林。そこに心優しい翁、媼と、そして可愛いかぐや姫。平穏で安らかな毎日。幸せな日々の暮らしへの感謝。中間部はわらべうたのモチーフで、懐かしさへの安らぎを味わう。

第3曲『争い』。立ちほだかる相手との争い。無理難題と立ち向かう知力・精神力の闘い。自己の気持ちの中の迷いと様々な葛藤。

第4曲『祈り』。翁の祈り、媼の祈り、かぐや姫の祈り。万策尽き果て、もうできることは何も無くただ祈る、ただただ祈るしかない人事の無力の切なさ。祈りの前では無垢で無防備な自分を知り、頭を垂れる尊さを知る。

第5曲『月へ』。結局かぐや姫は月に戻って行く。逆らえない現実。有限の無情。容赦のない時の移ろい。結末はあるがすべての終わりではなく、何事もまたそこから果てしなく広がりつながっていく。

本作品は、2015年9月11日 兵庫県立芸術文化センター神戸女学院小ホールで初演。『井本英子ピアノリサイタル 2015 The Sound Of Music, Songs From The Moon』の第2部、「Songs From The Moon 月からの調べ」と題したプログラムの中での最終曲。第1、2、5曲は篠笛（長谷川蘭情製作 十筈調子）とピアノ、第3、4曲はフルートとピアノで演奏。演奏者はフルート・篠笛は森本英希氏、ピアノは井本英子。演奏時間 20分。

井本 英子

組曲『竹取物語』

—フルート・篠笛とピアノのための二重奏—

2015年9月11日

『井本英子ピアノリサイタル 2015

The Sound Of Music, Songs From The Moon』

兵庫県立芸術文化センター神戸女学院小ホール

1. 「むかしむかし」

The musical score for 'むかしむかし' consists of three staves. The first staff, labeled '1-①', is in 2/4 time and features a melody with a triplet of eighth notes. The second staff, labeled '1-②', is in 4/4 time and shows a more complex rhythmic pattern with eighth and sixteenth notes. The third staff, labeled '1-③', is in 4/4 time and contains a steady eighth-note melody.

第1曲『むかしむかし』2分の2拍子 a moll 篠笛は後方からのバンド演奏。導入部は5音音階での篠笛のソロインプロヴィゼーション。そしてテーマに入る（1-①）。旋律は自然短音階で構成。第1テーマの1回目、和声はI m7のみ、2回目はVIM7も入る。第2テーマ（1-②）の和声はIVm7、Vm7も入り、Tonic-Dominant-SubDominantがそろい、音楽の輪郭をはっきりさせている。拍子は4分の4拍子と4分の3拍子が交互に織り交ざる。

中間部（1-③）も旋律自体は派生音なく構成されているが、和声は一時転調を繰り返しながらすすみ第1テーマに流れ込む。終結部はピアノのソロインプロヴィゼーション。篠笛奏者が舞台正面定位置に着くまで続く。

2. 「かぐや姫」

The musical score for 'かぐや姫' consists of three staves. The first staff, labeled '2-①', is in 4/4 time and begins with a distinctive motif of eighth notes. The second staff, labeled '2-②', continues the melody with some rests and a change in rhythm. The third staff, labeled '2-③', features a more active eighth-note melody.

第2曲『かぐや姫』Gdur 4分の4拍子。篠笛の叙情的なソロインプロヴィゼーションに続いて、第1テーマ（2-①）の最初のモチーフは「かぐやひめ」と歌える「H-H-H-D-D」音から成る。複合3部形式のAの部分は長音階、Bの部分（2-③）は日本音階で対比。

3. 「争い」

3-① 

3-② 

3-③ 

第3曲『争い』 *amoll* 複合3部形式。4分の4拍子の前奏（3-①）はフルートとピアノの *Tutti*。第1テーマ（3-②）は8分の7拍子と8分の4拍子を交互に或いは随時織り交ぜた疾走的なテーマ。中間部（3-③）はフルートとピアノが呼応しながら様々な調に転調を繰り返して流動的に展開して前奏にもどる。再現部は、フルートがテーマを繰り返す中、ピアノパートのパスセージがエキサイトして終結。

4. 「祈り」

4-① 

4-② 

第4曲『祈り』4分の3拍子 リート形式。 *Fdur* と *dmoll* を常に揺れ動く調性。第1テーマ（4-①）はピアノソロで始まる。第1テーマの繰り返しの中でフルートのオブリガートが加わる。第2テーマ（4-②）の1回目はピアノソロ。両者がそれぞれテーマとオブリガートを分担しながら第1、2テーマを反復。クライマックスは両方のテーマが重なって奏される。

5. 「月へ」

5-① 

5-② 

5-③ 

第5曲『月へ』 *Adur* 4分の3拍子 リート形式。ピアノの前奏のあとピアノでの第1テーマ（5-①）は、3小節+2小節+4小節のモチーフで構成。第2テーマ（5-②）は第2曲の「かぐやひめ」の音型のモチーフ。経過句のあと2小節のモチーフ（5-③）が繰り返される中、第1テーマが現れ、2つの楽想が結合しながら曲がすすみ前奏が後奏となり終わる。